

二〇二四年二月一七日

定例WEB句会みのる選

節分会礫のごとく豆まかれ 澄子

お屋敷街そこ此処に猪注意札 うつぎ

蒼天に放物線や福の豆 むべ

在りし日の母と見しこの濃紅梅 たか子

花愛でて香に寄りて梅の園 わかば

踏石の梅の影ふむ日和かな ぼんこ

葉牡丹のパッチワークは花時計 せいじ

病窓を額縁として山笑ふ 素秀

湾霞むコンビナートの煙飲み うつぎ

子らの靴散らばる土間に春の泥 よう子

梅林の愉し遅速のあるもまた たか子

舞ふ豆に挙ぐる千手や節分会 康子

寺小春句碑また句碑とたもとほり かえる

白梅の雫のごとく枝垂れけり あひる